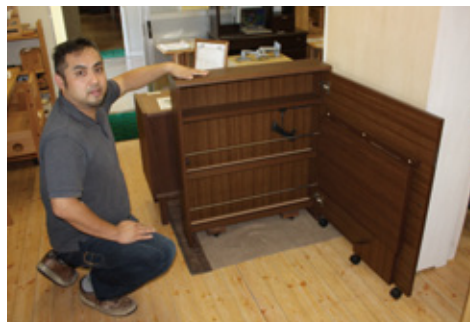


## 専心・潜心・先進

(有)ヨコタウッドワーク  
社長 横田 圭蔵 さん



商品の説明をする横田さん

家具の産地大川で唯一の「机」専門の製造メーカー、(有)ヨコタウッドワークに焦点を当てる。六十年余の歴史を持つ。重厚感のある書斎セットから学習机、パソコンデスク、座机等、アイデアあふれる製品を製作・販売している。社長の横田圭蔵さんにお話を伺った。

「何十年も使っていただけの製品を世に送りたい」と話される。ヨコタウッドワークは世代を越えて永く使っていただけの丈夫な家具造りに力を入れているのだ。

横田さんのこうしたものづくりの視点は、昨年、九州大学農学部で「備品再生プロジェクト」に関わった事で一層強まったという。「備品再生プロジェクト」とは九州大学農学部に残る古い家具をリペアして再利用するもの。環境を守ることにつながる。最初に修理を出されたのが、一九二一年製の机。横田さんが手を上げた。製造専門ゆえ、リペアは挑戦だったそうだ。

「素晴らしい素材と卓越した技術に目を見張った。」古い塗装面を研磨すると出てきたのが、美しい木目。江戸時代の木材と思われるが、まる

人気のトイレット  
ペーパーケース





ショールーム

で生きているかのようだった  
そうだ。そして九十年経って  
もそのない一枚板、引き出  
し前板の加工や蟻組（木と木  
を組む伝統的な技法）などの  
細工。そして一番下の引き出  
しを閉じると、上の三つの引  
き出しにロックがかかる仕掛  
け。「これだけの素材、技術  
が施されているからこそ、リ  
ペアができると思いました。  
当時の職人の魂を感じまし  
た。「昔の職人から仕事に妥  
協するな！」と言われていた  
かのように…。何十年も使え  
る良質の製品作りに励みたい  
との思いを強くしました。」

備える。  
昨年、県知事から「経営革  
新」の認定を受けた。また「地  
域資源を活かした事業計画」で

リビング、台所、狭い室内  
空間どこでも移動できる、一  
メートル四方のデスク。折り  
畳めば、奥行き十八cmのキャ  
ビネットになる。部屋の隅に  
収納できる。そして収納用の棚、  
コンセント二カ所、コード通  
用穴、転倒防止などの機能も

最近開発したのが、「畳む  
んデス」。移動式でコンパク  
トな収納折り畳みデスクであ  
る。インテリア性に優れた移  
動式収納型デスクは日本には  
まだないという。パソコンを  
楽しむ男性から主婦まで幅広  
い市場ニーズに適應する、高  
付加価値商品である

画期的な製品作りも、ヨコ  
タウッドワークの特長だ。構  
想・デザインは圭蔵さんが行  
う。



収納時



使用時

『畳むんデス』



『学習台』

国の認定も受けている。これ  
で補助金、政府系金融機関に  
よる融資、信用保証の特例等  
の支援を受けられるように  
なった。実用新案と商標も取  
得している。意匠は申請中だ。  
これから販路拡大を大いに期  
待できる製品だと思う。  
さらに「学習台」。これは  
福岡県工業技術センターイン  
テリア研究所との共同開発の



持ち運び時

製品。実用新案申請中だ。居  
間、リビングなど好きなところ  
ろに、手軽に持ち運べる、勉  
強机。傾斜十一度に設定され  
ていている。背筋が伸び姿勢  
が良くなる工夫だ。台座はメ  
ラミン樹脂で下敷きがいらな  
い。両側を挟む部分は、国産  
杉が施されている。香りが癒  
やしの効果をもたらす。正面  
には教科書を立てられるよう  
になっていて、子供たちは集  
中力を保てる。また手持ちす  
るとき、宿題等の書類を収納  
できる。これも画期的な製品  
だ。

横田さんの座右の銘は「専  
心 潜心 先進」。これは一つの  
ことにこだわり、一心に考え、  
納得したら一所懸命に前進す  
るとの意味だそう。探  
究心が強い方だと思います。バ  
イヤーや顧客の声をしっかりと

受け止めて、深く考えます。  
なぜ？またどのようにできる  
のか？絶えず自分に問いかけ  
ていますね。それが新しいア  
イデアにつながるのだと思  
います。時間がかかりますが、  
得心したらすぐに開発に進  
みます。」  
夢は何だろうか。「永く愛さ  
れる妥協のない商品作りを続  
けることです。そして物語を  
語るような…。ちよと九  
十年前の机のような…。フラッ  
グシップとなるような商品を  
作れたらと思います。その後  
にヨコタウッドワークの名が  
付いてくればいいと思ってい  
ます。」  
斬新で、長く愛されるデス  
ク製造に励む、ヨコタウッド  
ワークから目が離せない。



横田さんの座右の銘